

1 事業内容

団体名	くしろ元町フットパスを広め隊
事業名	地域住民が活躍するフットパス・ガイドシステムの構築
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	くしろ元町フットパスの取り組みが10年目を迎え、地域の住民が自ら生活する地域を広く地域外の人々に紹介したいという機運が高まってきました。地域の高齢者の経験を地域の力に変え、誰もが生きやすい地域づくりの仕組みを作っていきたい。
事業目的	地域住民自らの手で持続可能な地域を作っていくこと、その為に地域の福祉と経済を結びつけることである。その仕掛けとして地域の高齢者が自身の経験を生かして地域のガイドとして活躍することが出来るフットパス・ガイドシステムの構築であり、本事業はその為の実験事業である。
事業内容	① 地元ガイドと観光客とをマッチングさせるためのシステム作り ② 地元ガイド育成のための研修会 ③ ガイドシステムに合わせたフットパス・マップの刷新 ④ ガイドシステムに合わせた道標の追加 ⑤ ガイドシステムに合わせたフットパス・シールの刷新と地域連携場 ⑥ (フットパス・ノット、フットパス・オアシス) ⑦ フットパスガイドシステムの実施 ⑧ 年数回開催するフットパス・イベントを通して元町以外の方々、長期滞在者、大型客船で来訪する外国人観光客にも地域の魅力を発信するよう努めています。来訪者への歓待意識から、自ら地域案内人としてスキルアップするためにガイド利用者に対してアンケート調査を実施予定。長期滞在者、一般訪問者に対して「ゆるゆるおせっかいガイド」事業を実験予定。 ⑨ 道標設置場所の調整、ガイド実験事業に対して長期滞在者への参加呼びかけ。
事業展開	① 2024年度フットパス実施回数、12回。述べ参加人数166人（うち長期滞在者、観光客、移住者17人）地元ガイド参加者延べ人数8人（別紙明細参照）で実証実験を実施した。 マッチングさせるためのシステム作りとしては、市民協働推進課からの広報、市民活動センターわっとからの紹介、又連携団体のグローバルみらいネット、凸凹旅行舎からの紹介を得た。大きな意味でのマッチングであったが、個対個のマッチングとシステム作りは課題として残った。 ② 12回のフットパスのうち6回は下見、事前学習会含めた研修を自主的に行った。すなわち地域ガイドは、ほぼ素人のため、コース、ガイドポイント、話し方含め内部で検証し又参加者に渡す資料作りも行った。研修会というより自主的に、実践的に知識等深めていった。 ③ ガイドシステムに合わせ効率的なコースを策定し、参加者にトイレや、困ったときのお立ち寄り所など、名所、史跡にに限らない情報を掲載した。 ④ 設置個所、内容は別紙参照。 ⑤ シール、提携先は別紙参照。特に、釧路総合振興局観光課は、連携に前向きで、こんごさらなる協力体制構築も視野に入れ取り組んでいく。地域の寺社仏閣、教会なども協力を約束。

別紙

	⑥ 長期滞在者、観光客、移住者へのアンケート調査報告は、別紙参照。ガイドシステムの重要な柱であるガイド料金の設問で、地元高齢者の未熟なガイドであっても「千円くらいが妥当」という回答は、今後のガイドシステムを構築していくための大きな成果であった。
成果目標の達成状況	この活動をさらに広めるためには、地域を知らない来訪者が個人でも気楽にフットパスを楽しめるように地域の人々が来訪者を歓迎する仕組みづくり、さらに地元民のガイド養成、地域外への広報活動を目標に立てたが、上記①～⑥の事業展開でほぼ達成された。
波及効果の達成状況	くしろ市民活動センターわっと、グローカルみらいネット、凸凹旅行舎に本事業の目的を理解していただきさらなる連携強化が生まれた。それは大きな波及効果の表れであった。
実施体制	くしろ元町フットパスを広め隊が運営主体となり、地域住民、地域内施設（港文館など）、わっと、グローカルみらいネット凸凹旅行舎と連携。
連携した市担当課	無 ・ ⑥ （総合政策部 市民協働推進課、産業振興部 観光振興室）
連携した市担当課が果たした役割（※ 有の場合）	・ 長期滞在者とのパイプ役（市民協働推進課） ・ 道標土地所有者（道路課）との交渉（観光振興室） また実際にフットパスイベントに参加し（観光振興室、港湾空港課計5名）助言をいただく。

様式第 7 号（第 15 条関係）

（収入）

費目	決算額（円）	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
自己資金	30,920	
合 計	330,920	

（支出）

費目	決算額（円）	内訳
対象経費		
謝礼	5,000	ガイド
消耗品費	1,650	地図
印刷製本費	150,890	パンフレット、シールなど
使用料	5,000	会場使用料など
役務費	1,680	切手代
委託料	104,500	看板設置など
小 計	268,720	
対象外経費		
喫茶代	920	会議
食事代	30,000	長期滞在者交流会
小 計	30,920	
合 計	299,640	